

人気のエアロスタイル

エクステリアのイメージを決定付ける上で、最も重要な役割を果たしているのがエアロパーツ。そのため購入時には、自分が理想とするスタイルをしっかりと見極めた上で購入するようにしたい。ファッションと同じく、時代によって流行のスタイルも変わる。そんな場合はエアロ加工や流用加工を取り入れ対応してやりたい。

▶バンパー流用



せっかく気に入ったエアロパーツが見つかったも、自分のクルマに設定されていない場合もある。そこで諦めてしまうのはちょっと早い。サイズや形状の似たクルマに設定されたエアロがあれば、それを流用加工することで、装着出来ることもあるのだ。

▶バンパーニコイチ



ニコイチとは文字通り、2個を1個にすること。つまりエアロにおけるニコイチとは、2つのスポイラーを組み合わせ、1つのスポイラーを作り出すこと。他車種の



スポイラーで気に入った部分を、自分のクルマに取り入れる場合に使われる手法。市販されていない、完全にオリジナルのスポイラーを作り出すことが可能。

ボディに穴開け加工が いらぬエアロ



純正ジョー「一体感」をテーマにノーマルバンパーでの物足りなさを補いつつも、エアロパーツの存在感は主張し、純正ピン共締め十両面テープでの「完全ボルトオン」設計として、新車への穴開け加工を必要としない画期的なアイテム。FRP製でありながらスポイラーの裏側に純正バンパーにピッタリと合うテープポイントを製作し、手軽にエアロを装着することが可能。

▶今、主流のスタイル



道路交通法の改正による規制強化や、ユーロやラグジュアリースタイルのブームとともに人気となっているのが、純正スポイラーのアンダーに追加するハーフタイプやリップタイプ。純正のスタイルを崩さないシンプルなフォルムは、年齢層を問わず人気が高い。コストパフォーマンスにも優れ、さらにシンプルな分、動きが来ることなく、長くそのスタイルを楽しむことが出来るというのも大きな理由。逆に従来のVIPユーザーには、フルバンパータイプがピッタリとハマる。



▶エアロ加工最新事情

エアロを装着し時間が経った場合やドレスアップ上級者ともなると、エアロメーカーからリリースされるエアロそのままのフォルムでは、満足できなくなる。そこで登場するのがエアロ加工。独自のアイデアを取り入れることで、まさに自分だけのスタイルを作り出すことが出来

るというワケ。定番のフェンダー叩き出しに加え、最近人気のワンオフ加工と言えば、フェンダー部を中心としたダクト加工。さらにマフラーに合わせたエアロアンダーの加工や、フォグランプの移植などその手法も様々。これらをセンスよく使い分けることが大事だ。



フロントバンパーの厚みを、延長加工によりさらに延長。縦方向への風量と進行方向への風量の2種類あり。



バンパーの厚みを減らしてやる短縮加工は、VIPスタイルからラグジュアへのスタイル変更にも多いワケ。



他車種のスポイラー開口部を流用。独自のスタイルを作り出す手法。ドレスアップ上級者のテクニクでもある。



レックスやマクxの開口部を流用。スポイラーアンダーに開口を埋め込んでもうのゼロレ。



上級者の前後バンパー部に装着される車間センサーのタイストを取り入れ、高級感を打ち出すアイデア。



エアロに設定されているフォグランプではなく、他車種のフォグランプを使うこと。等身はベンツエクラス。